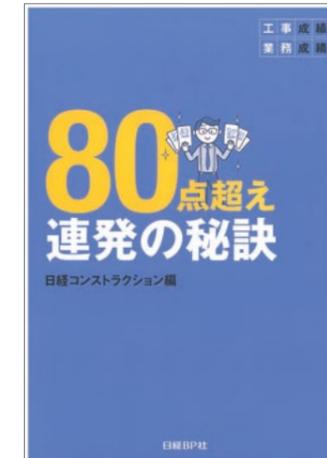


新刊紹介



工事成績・業務成績 80点超え連発の秘訣

著者：日経コンストラクション
発行：(株)日経BP社
仕様：A5判 288ページ
定価：3,500円(税別)

入札価格と技術力を総合的に評価して落札者を決める「総合評価落札方式」。

『日経コンストラクション』誌面で成績を上げたいのに上げられない技術者や会社を対象に連載していた定期コラム「80点の取り方」や、過去7年に渡る成績評価の特集を中心に35の工事・業務の実例と、技術者50人から聞き取りを行い好成績の秘訣を取りまとめた『工事成績・業務成績 80点獲得のセオリー』が2011年11月に発行されてから5年がたつ。

その間、国土交通省は既に、総合評価落札方式をほぼすべての工事に取り入れており、自治体でも導入が急速に進んでいる。同方式で、技術力の一つとして評価値に加算されるのが工事・業務の成績評価点である。

高い成績を取得できれば次の受注に有利になるので、各社は80点を一つの目安に成績向上に取り組んでいる。国土交通省の各地方整備局が2015年度に公表した工事成績ランキングでは、80点を超える企業が200社以上に上る。これは2012年度に比

べると2倍以上の増加だという。

このように、最近では80点の取得率が増えており、「80点以上をいかに継続するか」に各社の主眼が移ってきているという。それというのも国土交通省などが認定する「優秀企業」への優遇措置が、好成績の継続につながるためとのこと。

『日経コンストラクション』誌ではこれらの状況から継続企画として、80点以上を続けて取得するポイントとコツを特集した「80点連発の秘訣」や定期コラム「成績80点の取り方」の記事として掲載したところ大変好評だったことからこれらの記事を加筆・再編集したものが本書である。

本書を手に取り、発注者が何をどのように評価しているのかを知り、好成績取得に努めてもらいたい。

本書の構成は次のとおりである。

- [PART1] 成績評定の最新トレンド
- [PART2] 高得点継続のポイント
- [PART3] こうして80点以上を取りました
- [PART4] 好成績企業の取り組み